

『時事直言』 No.1081 2016年6月21日

時事直言ホームページ：<http://chokugen.com>
時事直言 携帯サイト：<http://mobile.chokugen.com>
FAX：03-3955-6466



時事評論家 増田俊男

英国の EU 離脱なし！

先週の株価は英国の EU 離脱不安と期待された日銀の追加緩和が見送られたことから 103 円まで円高が進み株価（ニッケイ平均）は 15,000 円を割るところまで下げたが今や 16,000 円を回復するまで戻している。

世界の市場の関心事は BREXIT（英の EU 離脱）の有無である。

私は「英国は良識ある国だから EU 離脱はありえない」と述べ、6月23日までは「買いだ」とアドバイスしている。

私は「小冊子」(Vol.80)で「歴史の始まり」と題し、世界が今まで歩んできた歴史を終えて新しい歴史の第一歩を踏み出そうとしていることを多くの現象を挙げ、その中で「EU は新しい時代を先取りする欧州の大実験」と解説している。

世界が米ソ二大国に分断された時代が終わり、植民地や衛星国が独立し国連に加盟、世界に対して発言力を持つようになった。

情報革命によって情報の創造と発信が国家から国民に移り国家の権威と権限が縮小、小さい国家の時代となった。

国際化、グローバル化で人、モノ、マネーに国境がなくなり国家間の依存関係が深まり、国家は自立・独立・対立から国家間の協調・連携・統合の方向へ向かっている。

1993年11月1日に締結されたマーストリヒト条約から発足した EU（欧州連合）の理想は新しい時代の趨勢に一致する。

EU は 2010 年に欧州財政・金融危機を乗り越え、今中東からの難民問題、ロシアの領土的野心と戦っている。

英国の EU 離脱論者は EU 加盟国としての移民の受け入れ等の負担を嫌い、EU の機能の官僚化を非難するが、EU 離脱後の英国の理想、安全保障、国際関係の在り方など何一つ示していない。

目先の責任回避で国家の運命を危うくする愚か極まりない選択である。

英国の良識は馬鹿げた選択はしない！

増田俊男の「ここ一番！」大好評配信中！

現在、増田俊男の「ここ一番！」を FAX 又は e-mail にて配信しております。詳しいご案内、お申込みについてはマスタ U.S.リサーチジャパン(株)Tel：03 3955-6686、HP：www.chokugen.com まで。

【最近の配信履歴】

- 6月20日（月） No. 651 イギリスの EU 残留期待
- 6月16日（木） No. 650 最悪！
- 6月16日（木） No. 649 短期決戦
- 6月14日（火） No. 648 大がかりな Manipulation(価格操作)

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、
事前にマスタ U.S.リサーチジャパン株式会社（FAX：03-3955-6466）までお知らせ下さい。